



自分たちの命は自分たちで守る

防災ミュージカル「稲ムラの火」

新生ふるきやらバラエティ防災ミュージカル「稲ムラの火」が2月11日(祝)、町民会館わたむきホール虹で開催されました。

このミュージカルは防災ミュージカル「稲ムラの火」を観る会が、東日本大震災を風化させず、今一度、安全・安心なまちづくりに向け考える機会になればという思いを込めて行われました。

稲ムラの火とは安政の南海地震の際、津波から村の仲間を守るため、稲むらに火をつけ仲間を誘導して命を守り、私財を費やして広村堤防を建設した浜口梧陵の実話をもとにした作品です。

終盤には、町内の子ども24名が出演し、満員の観客の中ミュージカルを盛り上げました。

今回の収益の一部は東日本大震災の復興のため日本赤十字社へ寄附されました。



▲町内の子どもたちも出演したミュージカル

交通事故をなくすには、まず気持ちから

西大路公民館で高齢者学級を開催

2月15日(金)、西大路公民館で今年度9回目の高齢者学級が行われました。

今回は滋賀県警察のふれあいチームと学生ボランティアの皆さん等が、交通ルールの再確認や事故の起きやすい状況などについて寸劇や人形を使って楽しく、分かりやすく説明されました。

ふれあいチームの皆さんは「交通事故は通り慣れた道でよく起こる。常に歩行者等を警戒してほしい。また歩行者は運転手が見てくれていると信用しすぎず、自分の身は自分で守るということを忘れないで」と歩行者、運転者それぞれの立場から注意することを話されました。

交通ルールを再確認し、交通安全に対する意識を高める機会となりました。



▲学生ボランティアの皆さんから反射板が手渡されました



▲皆さん交通ルールを楽しく再確認されました

20年の歩みを振り返り、活動の大切さを知る

日野町人推連協・地区人推協 20周年記念事業 「平成24年度人権委員交流研修会」

日野町人権啓発推進連絡協議会(日野町人推連協)と7地区の人権啓発推進協議会(地区人推協)は、今年度20周年を迎えるにあたり、記念事業を2月16日(土)、日野公民館で開催されました。

記念事業では、「20周年の歩み報告」として地区人推協の活動経過を説明され、地域に根ざした取り組みの大切さを話されました。

また、記念講演では法政大学大学院教授の坂本光司氏が「人を大切にする会社」と題し「日本一の会社とは業績、売上げ、規模が大きい会社ではなく、人を大切にし、幸せにしているかどうかです」と実際の会社の取り組みを紹介し、働くことから得られる幸福などについて話されました。



▲会社のあり方を分かりやすく話された記念講演



まぢの

「おはぎ」と一緒にまごころを

日野町民生委員・児童委員さん

民生委員さんは「寒い日が続いています。体調などが崩していませんか？」などと話しかけながら、手作りのおはぎを手渡されました。元気で長生きしてほしいという願いが込められた「しあわせのおはぎ」。今年もおいしいおはぎとともに温かい思いが皆さんに届けられました。

2月20日(水)、日野町民生委員・児童委員の皆さんが70歳以上のひとり暮らしの方に「しあわせのおはぎ」を作り、手渡しで届けられました。この取り組みは25年間続けられており、今年は389人に届けられました。



▲ひとつ一つ手作りの「しあわせのおはぎ」



▲おはぎは温かい言葉とともに届けられました

本来の田んぼの姿を取り戻そう

日野町農業委員さん

日野町農業委員会では、耕作放棄地が増えることを重要な問題と考え、実態把握をはじめ、解消に向け委員自らが取り組んでおられます。

このたび、耕作放棄地解消に向けた計画に基づき、耕作放棄地の所有者や地域の農業者等と話し合いをし、2月27日(水)と3月5日(火)の2日間で耕作放棄地の復元作業を支援されました。

山川猛農地部会長は「今回の活動で一部の耕作放棄地が解消できたことは大変うれしい」と取り組みを振り返って話されました。今回作業をされた田んぼは、今年の春から地元の方が耕作等をされる予定です。



▲トラクターでの復元作業



▲作業をされる農業委員の皆さん

お雛さまとお迎えする華やかなひなまつり

日野ひなまつり紀行を開催

今年で6回目となった日野ひなまつり紀行。各家庭や街角に飾られる雛飾りや装飾が年々趣向を凝らしたものに なってきています。通りでは、訪れた人の楽しそうな話し声、太鼓と拍子木にあわせてつく餅つき音、古民家で演奏されるギターの音色、日野祭囃子の調べ、団体を案内するガイドさんの声などにぎわう様子が耳に入ってきました。今年には30台を超える観光バスなどで約1万4千人の方が訪れ、お雛さまや地元の方との出会いを楽しまれました。



▲3日(日)にはたくさんの方が訪れました



▶街並みを散策しながらお雛さまを楽しむことができました